



Solaris 7 - 3/99 ご使用にあたって (SPARC 版)

Sun Microsystems, Inc.
901 San Antonio Road
Palo Alto, CA 94303
U.S.A. 650-960-1300

Part No: 805-7786-10
1999 年 4 月

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。日本サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

RESTRICTED RIGHTS: Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions of FAR 52.227-14(g)(2)(6/87) and FAR 52.227-19(6/87), or DFAR 252.227-7015(b)(6/95) and DFAR 227.7202-3(a).

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョーベイマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, SunSoft, SunDocs, OpenWindows, SunOS, AnswerBook2, Solaris Maintenance Update, Solaris Web Start, JumpStart, NFS, Java, HotJava, Solstice AdminSuite, Solstice AutoClient, DiskSuite, SunLink, Ultra, XGL は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPENLOOK, OpenBoot, JLE は、日本サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Netscape と Netscape Navigator は、米国 Netscape Communications Corporation の商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社で開発されたソフトウェアです。(Copyright OMRON Co., Ltd. 1998 All Rights Reserved.)

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

ATOK7 は株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK7 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

ATOK8 は株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

DtComboBox ウィジェットと DtSpinBox ウィジェットのプログラムおよびドキュメントは、Interleaf, Inc. から提供されたものです。(Copyright (c) 1993 Interleaf, Inc.)

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定められる戦略物資等(貨物または役務)に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、日本サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Solaris 7 3/99 Release Notes (SPARC Platform Edition)

Part No: 805-7579-10

Revision A

© 1999 by Sun Microsystems, Inc.



目次

はじめに vii

1. Solaris 7 - 3/99 の構成 1

製品の種類と出荷形態 1

「Solaris 7 - 3/99 デスクトップ製品」および「Solaris 7 - 3/99 サーバー製品」の構成 1

Solaris 7 - 3/99 Software CD (SPARC 版) 1

Solaris 7 - 3/99 Documentation CD (日本語版) 2

Solaris 7 - 3/99 Documentation CD 3

Netscape Communicator 4.5 CD (日本語版) 3

Solaris 7 インストールの手引き 3

Solaris 7 - 3/99 ご使用にあたって (SPARC 版) (本書) 4

Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版) 4

日本語入力用図形文字コード表 5

Binary Code License (ソフトウェア使用許諾契約書) 5

Binary Code License (Terms & Conditions) 6

2. インストールにあたって 7

カスタマサポートへの連絡 8

サポートハードウェア 8

必要なメモリー 8

必要なスワップ領域	8
必要なディスク容量	9
Solaris Software CD のソフトウェア容量	10
Solaris Documentation CD のソフトウェア容量	11
Netscape Communicator CD のソフトウェア容量	14
日本語環境のインストール方法	14
デフォルトロケールの設定	14
インストール言語の設定	15
オンラインリリース情報	17
参照方法	17
インストール方法	18
3. Solaris 7 - 3/99 ソフトウェアのインストール	19
システムのバックアップ	19
Solaris 7 - 3/99 のインストール	20
インストール後の確認	20
Solaris 7 をインストールサーバーとして使用する	20
サーバーからのディスクレスクライアントおよび AutoClient へのインストール	21
インストール後の確認	21
Solaris 7 - 3/99 へのアップグレード	22
Solaris 2.5.1 または 2.6 オペレーティング環境からのアップグレード	22
Solaris 7 オペレーティング環境からのアップグレード	22
アップグレード後の確認	26
アップグレード後のサーバーからの、ディスクレスクライアントおよび AutoClient のアップデート	26
Solaris 7 - 3/99 ソフトウェアのバージョンの確認	27
4. インストールに関する注意事項とバグ情報	29
Solaris 7 - 3/99 インストールの注意事項とバグ情報	29
Solaris Web Start 1.0 インストールに関する注意事項とバグ情報	30

	対話式インストールに関する注意事項とバグ情報	31
	アップグレードに関する注意事項とバグ情報	33
	インストール全般に関するバグ情報	35
	64 ビット Solaris に関する注意事項とバグ情報	36
	Solaris 7 - 3/99 インストールの注意事項とバグ情報 (日本語環境固有)	37
	Solaris Web Start 1.0 インストールに関する注意事項とバグ情報	38
	アップグレードに関する注意事項とバグ情報	42
	インストール全般に関する注意事項とバグ情報	43
5.	実行時の注意事項とバグ情報	47
	Solaris 7 - 3/99 実行時の注意事項とバグ情報	47
	Solaris CDE に関するバグ情報	48
	64 ビット Solaris に関するバグ情報	48
	デバッグに関するバグ情報	49
	Solaris 7 - 3/99 実行時の注意事項とバグ情報 (日本語環境固有)	49
	Netscape Communicator 4.5 (日本語版) に関するバグ情報	50
6.	製品の中止情報	51
	サポート中止予定のソフトウェア	51
	sysidnis (1M) システム認識プログラム	51
A.	Maintenance Update 1 パッチリスト (SPARC 版)	53
	パッチリスト	53

はじめに

本書『Solaris 7 - 3/99 ご使用にあたって (SPARC 版)』は、Solaris™ 7 - 3/99 をご使用になるにあたって最初に読んでいただくマニュアルで、今回のリリースに関する最新情報が記述されています。

本書では、Solaris 7 - 3/99 オペレーティング環境ソフトウェアをインストールする前に必要な情報、リリース直前に明らかになった情報や問題点を中心に説明します。

Solaris 7 - 3/99 リリースに関するマニュアルとして、本書の他に『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』がオンラインのテキスト形式で提供されています。

『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』については、17ページの「オンラインリリース情報」の説明を参照してください。

注 - 本書の第 4 章は、『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』の `installation_bugs` ファイル中の内容よりも優先されます。

注 - 今回の Solaris の製品名称は「Solaris 7 - 3/99」ですが、コード、パス名、パッケージパス名などで、「Solaris 2.7」または「SunOS 5.7」という名称が使用されていることがあります。コード、パス、パッケージパスなどを実際に入力または使用するときには、必ずマニュアル中に記述されている名称に従ってください。

対象読者

本書は、Solaris 7 - 3/99 ソフトウェアをインストールして使用する方を対象としています。Solaris についての知識を持つ方、現在習得中の方を対象としています。

内容の紹介

本書は、次のように構成されています。

第 1 章では、Solaris 7 - 3/99 に含まれるデスクトップ用およびサーバー用の CD やマニュアルの構成について説明します。

第 2 章では、Solaris 7 - 3/99 をインストールするために必要なメモリーおよびディスクの容量、日本語環境のインストールについての概要などを説明します。この章の内容を理解してから、インストールを開始してください。

第 3 章では、Solaris 7 - 3/99 のインストールまたは Solaris 7 - 3/99 へのアップグレードにおける、前準備および完了後の検証について説明します。

第 4 章では、Solaris 7 - 3/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』の `installation_bugs` ファイルの内容を修正および追加した、インストールに関する注意事項とバグの最新情報を説明します。この章の内容を理解してから、インストールを開始してください。

第 5 章では、Solaris 7 - 3/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』の `runtime_bugs` ファイルを作成後に明らかになった、実行時の注意事項やバグの情報を説明します。

第 6 章では、Solaris 7 - 3/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』の `eof` ファイルを作成後に明らかになった、サポートを終了するソフトウェアの機能またはハードウェアについて説明します。

付録 A では、Solaris 7 - 3/99 に統合されているパッチ (Maintenance Update 1 パッチ) のリストを記載しています。

Solaris のほかに付属のソフトウェアをインストールする場合は、付属ソフトウェアに含まれている最新リリース情報を参照して、そのソフトウェアに関する注意事項およびバグ情報を確認してください。

関連マニュアル

Solaris をインストールするには、本書の内容を理解した上で、次のマニュアルをご利用ください。

- 『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』 (17ページの「オンラインリリース情報」の説明をご覧ください)
- 『Solaris 7 インストールの手引き』
- 『Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版)』
- 『Solaris 7 のインストール (追補)』
- 『Solaris 7 のシステム管理 (追補)』
- 『Solaris 7 のソフトウェア開発 (追補)』

Solaris のマニュアルは、このリリースに含まれる Solaris 7 - 3/99 Documentation CD で提供されています。

また、Solaris 7 - 3/99 の新機能について説明しているマニュアルも提供されています。これらのマニュアルは、タイトルに (追補) と示されています。

ハードウェア構成によっては、インストールを行うために別途作業が必要になることがあります。ハードウェア固有の作業が必要な場合は、各ハードウェアのメーカーからインストール手順を補足する資料が提供されています。それらの資料も利用して、インストールを行なってください。

Sun のオンラインマニュアル

<http://docs.sun.com> では、Sun が提供しているオンラインマニュアルを参照することができます。マニュアルのタイトルや特定の主題などをキーワードとして、検索を行うこともできます。

表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、またはコード例を示します。	<code>.login</code> ファイルを編集します。 <code>ls -a</code> を使用してすべてのファイルを表示します。 <code>system%</code>
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力とは区別して示します。	<code>system% su</code> <code>password:</code>
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、 <code>rm filename</code> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。
「 」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、または強調する単語を示します。	第 5 章「衝突の回避」を参照してください。 この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を越える場合、バックslashは継続を示します。	<code>sun% grep '^#define \</code> <code>XV_VERSION_STRING'</code>

ただし AnswerBook2™ では、ユーザーが入力する文字と画面上のコンピュータ出力は区別して表示されません。

コード例は次のように表示されます。

■ C シェルプロンプト

```
system% command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェルのプロンプト

```
system$ command y|n [filename]
```

- スーパーユーザーのプロンプト

```
system# command y|n [filename]
```

[]は省略可能な項目を示します。上記の場合、*filename* は省略してもよいことを示します。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。



注意 - この記号が付いている注意事項に従わない場合は、データ、システム、関連機器などの損傷を起こす可能性があります。

一般規則

- 「x86」という用語は、一般に Intel 8086 ファミリに属するマイクロプロセッサを意味します。これには、Pentium、Pentium Pro、Pentium II、Pentium Xeon、Celeron の各プロセッサ、および AMD、Cyrix、Xeon が提供する互換マイクロプロセッサチップが含まれます。このマニュアルでは、このプラットフォームのアーキテクチャ全体を指すときに「x86」という用語を使用し、製品名では「Intel 版」という表記で統一しています。

Solaris 7 - 3/99 の構成

この章では、Solaris 7 - 3/99 リリースに含まれている CD および印刷マニュアルについて説明します。

製品の種類と出荷形態

Solaris 7 - 3/99 は、「Solaris 7 - 3/99 デスクトップ製品」と「Solaris 7 - 3/99 サーバー製品」の 2 つの製品構成で提供されます。

「Solaris 7 - 3/99 デスクトップ製品」および「Solaris 7 - 3/99 サーバー製品」の構成

「Solaris 7 - 3/99 デスクトップ製品」および「Solaris 7 - 3/99 サーバー製品」の構成について、概要を説明します。

Solaris 7 - 3/99 Software CD (SPARC 版)



この CD には、主に次のソフトウェアが含まれています。他のどの CD よりも先にインストールしてください。

■ Solaris 7 - 3/99 オペレーティング環境

SunOS™、Solaris 共通デスクトップ環境 (以降、Solaris CDE と表記します)、OpenWindows™ ソフトウェア、日本語入力システム (Wnn6、ATOK8、cs00) などが含まれます。

インストールするには：まず初めに、本書に書かれている既知の問題について確認してください。次に、『Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版)』の「インストールの手順」を参照してください。

■ Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報

インストールに関する注意事項とバグ情報、実行時のバグ情報、最新情報、パッチ情報、ドライバ更新情報、サポートされなくなった製品の情報を、オンラインのテキストファイルで提供します。

参照するには：17ページの「オンラインリリース情報」をご覧ください。

Solaris 7 - 3/99 Documentation CD (日本語版)



この CD には、AnswerBook2 文書サーバーソフトウェアと、日本語のオンライン文書コレクションおよびいくつかの英語のオンライン文書コレクション (日本語に翻訳されていない文書を含むもの) が含まれています。

詳細は、表 2-2 を参照してください。

インストールするには：この CD に含まれる README_ja.html をお読みください。

Solaris 7 - 3/99 Documentation CD



この CD には、AnswerBook2 文書サーバーソフトウェアと、英語およびヨーロッパ言語のすべての AnswerBook オンライン文書コレクションが含まれています。

Solaris 7 - 3/99 Documentation CD (日本語版) に含まれていない英語のオンライン文書コレクションを参照したい場合にご利用ください。

詳細は、表 2-3 を参照してください。

インストールするには：この CD に含まれる README_en.html をお読みください。

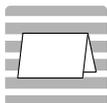
Netscape Communicator 4.5 CD (日本語版)



この CD には、日本語版の Netscape Communicator 4.5 が含まれています。Solaris Web Start 1.0 によって、デフォルトで Solaris 7 - 3/99 ソフトウェアと同時にインストールされます。

インストールするには：この CD に含まれる readme_ja.txt をお読みください。

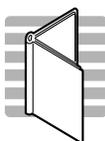
Solaris 7 インストールの手引き



インストールを始めるにあたって参照するカードです。従来の対話式インストールを行うか、または Solaris Web Start 1.0 インストールを行うかを選択し、それぞれを使用してインストールを行う手順が説明してあります。また、マニュアルの注文方法および Web ブラウザでの参照方法についても説明しています。

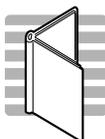
インストールに際しては、本書の第 2 章および第 4 章も必ずお読みください。

Solaris 7 - 3/99 ご使用にあたって (SPARC 版) (本書)



インストールに関するバグ情報や注意事項を中心に説明しています。また、Solaris 7-3/99 Software CD に含まれている『Solaris 7-3/99 オンラインリリース情報』を作成後に明らかになった、バグ情報、最新情報、サポートを中止する予定の製品の情報などを提供します。

Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版)

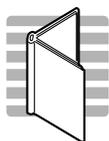


Solaris 7 ソフトウェアのより高度なインストール (以前の Solaris リリースからのアップグレードなど) を行うために必要となる情報を提供します。次の章で構成されています。

- 「インストールの手順」
- 「新規機能一覧」

- 「新規機能の概要」
- 「Solaris Web Start の使い方」
- 「システムのアップグレード」
- 「インストール時の問題解決」
- 「インストール後のソフトウェアの追加と削除」
- 「オンライン文書へのアクセス」
- 「CUI インストールの日本語訳」

日本語入力用図形文字コード表



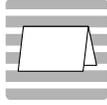
Solaris 7 オペレーティング環境で日本語入力システムを使用して図形文字を入力するための、コードと図形文字の対応、ja_JP.PCK および ja_JP.UTF-8 ロケール利用時の注意事項を説明しています。

Binary Code License (ソフトウェア使用許諾契約書)



ソフトウェア使用の許諾に関する記述が含まれています。

Binary Code License (Terms & Conditions)



上記の「ソフトウェア使用許諾契約書」に対する補足条項が含まれています。

インストールにあたって

この章では、Solaris 7 - 3/99 をインストールするために必要なメモリーおよびディスクの容量、日本語環境のインストールについて説明します。また、本書を作成する前の情報が書かれている『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』のインストール方法および参照方法についても説明します。

注 - 本章の内容を理解してからインストールを開始してください。この章に記載されている情報は、Solaris 7 - 3/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』の installation_bugs ファイルの内容よりも優先されます。オンラインリリース情報については、17ページの「オンラインリリース情報」の説明を参照してください。

以下に、Solaris 7 - 3/99 で提供されるインストール方法を簡単に説明します。

インストール方法	説明
従来の対話式インストール Jump Start™ カスタム Jump Start	Solaris ソフトウェアだけをインストールする。 (Solaris 7 - 3/99 Software CD に含まれている)
Solaris™ Web Start 1.0	Solaris ソフトウェアおよび同梱の CD に含まれる別ソフトウェアを一度に容易にインストールできる。 (Solaris 7 - 3/99 Software CD に含まれている)
Solaris Web Start 2.0 (installer)	Solaris がインストールされた環境に、同梱の CD に含まれる別ソフトウェアを共通のユーザーインタフェースで容易にインストールできる。 (同梱の CD に含まれている)

カスタマサポートへの連絡

サポートに関連する問題については、ご購入先にお問い合わせください。また、Sun についての情報は、以下の Web ページをご覧ください。

- <http://access1.sun.com>
- <http://www.sun.com>
- <http://www.sun.co.jp> (日本サン・マイクロシステムズ株式会社)

サポートハードウェア

Solaris 7 - 3/99 は、すべての sun4c、sun4d、sun4u プラットフォーム (アーキテクチャ) をサポートします。また、ほとんどの sun4m プラットフォームもサポートしています。詳細は、ご購入先にお問い合わせください。

必要なメモリー

32M バイト以上の物理メモリーが必要です。Solaris CDE や OpenWindows などの日本語デスクトップ環境を使用する場合には、64M バイト以上確保することをお勧めします。

また、Solaris Web Start 1.0 によるインストールを日本語表示で行うには、最小 64M バイトの物理メモリーが必要です。詳細は、38ページの「システムの最小要件」を参照してください。

必要なスワップ領域

スワップ領域は、実メモリーとの合計が少なくとも 64M バイトになるように確保することを推奨します。さらに、日本語デスクトップ環境を使用する場合には、実メモリーとの合計が 128M バイト以上になるように確保してください。

注 - 物理メモリーが 64M バイト未満のシステムに、従来の対話式インストールでファイルシステムの自動配置を行なった場合に確保されるスワップ領域は、上記の要件を満たしていません。この場合は、手動でサイズを変更してください。

必要なディスク容量

今回のリリースで標準提供される Solaris Software CD、Solaris Documentation CD、Netscape Communicator CD をインストールするのに必要なディスク容量について説明します。

上記のソフトウェアをシステムにインストールするには、インストールするソフトウェアとディスクの構成によってファイルシステムを構築する必要があります。

Solaris Web Start 1.0 (Solaris 7 - 3/99 Software CD に含まれている) を使うと、Solaris オペレーティングシステムおよび同梱の別ソフトウェアをインストールするためのファイルシステムが自動的に配置され、これらの CD を一度に容易にインストールすることができます。

一方、従来の対話式インストール¹では、Solaris オペレーティングシステムだけをインストールするように設計されているので、同梱のソフトウェア容量も考慮したファイルシステムの自動配置を行うことはできません。

同梱のソフトウェアもインストールする場合には、それらのソフトウェア容量を考慮してファイルシステムを手動で構成する必要があります。そして、Solaris オペレーティングシステムのインストール終了後に、同梱の CD に含まれている Solaris Web Start 2.0 (installer) または、各ソフトウェアのインストール手順に従って、同梱のソフトウェアをインストールしてください。

なお、Solaris Easy Access Server 2.0 をご利用になる場合、含まれている各製品のソフトウェア容量については、『Solaris Easy Access Server 2.0 インストールライブラリ』を参照してください。

1. システムが Solaris Web Start 1.0 を実行するための要件を満たしていない場合、またはアップグレードや細かいインストール設定を行いたい場合などには、従来の対話式インストールを行う必要があります。

Solaris Software CD のソフトウェア容量

次の表は、Solaris 7 - 3/99 オペレーティングシステム (日本語版) だけをインストールするために必要なディスク容量を、インストールするロケール別に示しています。記載されている値は、必要な容量の推奨値 (カッコ内は最小値) です。また、スワップ領域に必要な容量は含まれていません。

なお、従来の対話式インストールで「ソフトウェアの選択」画面に実際に表示される各ソフトウェアグループの値は、スワップ領域を含んだ値で、インストールするシステムのディスクやメモリーのサイズによって異なります。

表 2-1 Solaris 7 - 3/99 Software CD (SPARC 版) のソフトウェア容量 (単位: M バイト)

ソフトウェアグループ	必要な容量の概算推奨値 (カッコ内は最小値)			
	ja(EUC) のみ	PCK のみ	UTF-8 のみ	全部
全体ディストリビューションと OEM サポート	1022 (870)	1013 (862)	1021 (869)	1073 (913)
/	68 (58)	68 (58)	68 (58)	70 (60)
/usr	935 (799)	926 (787)	934 (794)	983 (836)
/opt	19 (17)	19 (17)	19 (17)	20 (17)
全体ディストリビューション	1003 (852)	994 (846)	1002 (852)	1053 (896)
/	62 (53)	62 (53)	62 (53)	64 (55)
/usr	923 (784)	914 (778)	922 (784)	971 (826)
/opt	18 (15)	18 (15)	18 (15)	18 (15)
開発者システムサポート	933 (794)	925 (787)	933 (794)	983 (837)
/	59 (51)	59 (51)	59 (51)	61 (53)
/usr	862 (733)	854 (726)	862 (733)	910 (774)
/opt	12 (10)	12 (10)	12 (10)	12 (10)
エンドユーザーシステムサポート	588 (499)	581 (493)	587 (499)	614 (523)
/	54 (46)	54 (46)	54 (46)	55 (47)
/usr	523 (444)	516 (438)	522 (444)	548 (467)
/opt	11 (9)	11 (9)	11 (9)	11 (9)

注 - この表に記載されている値は、sun4u アーキテクチャのシステムにソフトウェアをデフォルトでインストールする場合に必要な容量で、64 ビット (sparc v9) サポートパッケージの容量を含んでいます。64 ビットパッケージをインストールしない場合や、sun4u 以外のアーキテクチャにインストールする場合には、この表の値よりもおよそ推奨値で 130 MB、最小値で 110 MB ほど少ない容量で済みます。

Solaris Documentation CD のソフトウェア容量

Solaris 7 - 3/99 では、日本語版と英語+ヨーロッパ言語版の、2 種類の Documentation CD が提供されます。

日本語版の Documentation CD 「Solaris 7 - 3/99 Documentation CD (日本語版)」には、日本語の AnswerBook パッケージおよび一部の英語の AnswerBook パッケージ (日本語に翻訳されていない文書コレクションを含むもの) が含まれており、すべての日本語ロケールで共通なパッケージとなっています。

英語+ヨーロッパ言語版の Documentation CD 「Solaris 7 - 3/99 Documentation CD」には、英語およびヨーロッパ言語のすべての AnswerBook パッケージが含まれています。

次の表に、「Solaris 7 - 3/99 Documentation CD (日本語版)」に含まれているパッケージとその容量を示します。これらのパッケージは、デフォルトで /opt にインストールされます。

表 2-2 Solaris 7 - 3/99 Documentation CD (日本語版) のソフトウェア容量
(単位 : M バイト)

パッケージ	形式	AnswerBook 名	必要な容量の概算値
[日本語]			
SUNWjinab	AB2	Solaris 7 Installation Collection - Japanese	14
SUNWjabe	AB2	Solaris 7 User Collection - Japanese	53
SUNWjaadm	AB2	Solaris 7 System Administrator Collection - Japanese	57
SUNWjabsd	AB2	Solaris 7 Software Developer Collection - Japanese	28
SUNWjdad	AB2	Solaris Common Desktop Environment 1.3 Developer Collection - Japanese	20

表 2-2 Solaris 7 - 3/99 Documentation CD (日本語版) のソフトウェア容量 (単位 : M バイト) 続く

パッケージ	形式	AnswerBook 名	必要な容量の概算値
SUNWamaja	AB2	Solaris 7 Reference Manual Collection - Japanese	40
SUNWjopen	AB2	OpenBoot Collection	7
[英語]			
SUNWinab	AB2	Solaris 7 Installation Collection	4
SUNWabsdk	AB2	Solaris 7 Software Developer Collection	21
SUNWaman	AB2	Solaris 7 Reference Manual Collection	87
SUNWakcs	AB2	KCMS AnswerBook	2
SUNWAXg	AB1	Solaris XGL 3.3 AnswerBook	28

注 - AnswerBook (AB1) と AnswerBook2 (AB2) は次の形式のデータを指します。

- 「AnswerBook1」: Solaris 2.6 より前の Solaris で使用されていた形式の AnswerBook のデータ
- 「AnswerBook2」: Solaris 2.6 から新しく導入された SGML 形式の AnswerBook のデータ

参照方法など AnswerBook についての詳細は、『Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版)』の「オンライン文書へのアクセス」を参照してください。

次の表に、「Solaris 7 - 3/99 Documentation CD」に含まれている、英語パッケージとその容量を示します²。これらのパッケージは、デフォルトで /opt にインストールされます。

表 2-3 Solaris 7 - 3/99 Documentation CD のソフトウェア容量 (英語パッケージのみ) (単位 : M バイト)

パッケージ	形式	AnswerBook 名	必要な容量の概算値
[英語]			
SUNWinab	AB2	Solaris 7 Installation Collection	3

2. この表では、ヨーロッパ言語のパッケージは省略しています。*印が付いているパッケージは、Solaris 7 - 3/99 Documentation CD (日本語版) には含まれていない英語のオンライン文書コレクションです。

表 2-3 Solaris 7 - 3/99 Documentation CD のソフトウェア容量 (英語パッケージのみ)(単位: M バイト) 続く

パッケージ	形式	AnswerBook 名	必要な容量の概算値
SUNWabe *	AB2	Solaris 7 User Collection	16
SUNWadm *	AB2	Solaris 7 System Administration Collection	20
SUNWabsdk	AB2	Solaris 7 Software Developer Collection	21
SUNWdtad *	AB2	Solaris Common Desktop Environment 1.3 Developer Collection	9
SUNWaman	AB2	Solaris 7 Reference Manual Collection	87
SUNWopen *	AB2	OpenBoot Collection	2
SUNWakcs	AB2	KCMS AnswerBook	2
SUNWaxg	AB1	Solaris XGL 3.3 AnswerBook	28

注 - 英語+ヨーロッパ言語版の Documentation CD 「Solaris 7 - 3/99 Documentation CD」をインストールするには、この CD に含まれている Solaris Web Start 2.0 (installer) を使用し、カスタムインストールで上記の文書コレクションだけを選択してインストールしてください。なお、この CD は Solaris Web Start 1.0 を使用して Solaris 7 - 3/99 ソフトウェアと同時にインストールすることはできないので、インストールするために必要なディスク容量を別に確保しておく必要があります。

次の表に、AnswerBook2 文書サーバー (以降「文書サーバー」とします) を構成するパッケージ SUNWab2r、SUNWab2s、SUNWab2u をインストールするのに必要な容量を示します。文書サーバーについての詳細は、『Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版)』の「オンライン文書へのアクセス」および Solaris 7 - 3/99 Documentation CD (日本語版) に含まれる README_ja.html を参照してください。

表 2-4 文書サーバーのソフトウェア容量 (単位: M バイト)

ディレクトリ	必要な容量の概算値
/	1.3
/usr	33

Netscape Communicator CD のソフトウェア容量

次の表に、Netscape Communicator 4.5 (日本語版) をインストールするのに必要な容量を示します。

表 2-5 Netscape Communicator 4.5 のソフトウェア容量 (単位: M バイト)

ディレクトリ	必要な容量の概算値
/opt	23

日本語環境のインストール方法

この節では、Solaris 7 - 3/99 を日本語環境でインストールするための方法を説明します。日本語環境でインストールするには、大きく分けて「デフォルトロケールの設定」と「インストール言語の設定」の 2 つの設定が必要です。それ以外のインストール手順は英語版の Solaris と同じです。『Solaris 7 インストールの手引き』に書かれているインストール手順に従ってください。

なお Solaris 7 - 3/99 では、文字エンコーディングが異なる次の 3 つの日本語ロケールがサポートされています。

- 従来の EUC 環境をサポートする ja ロケール
- Solaris 2.6 から PCK 環境をサポートする ja_JP.PCK ロケール
- Solaris 7 で新たに追加された UTF-8 環境をサポートする ja_JP.UTF-8 ロケール

デフォルトロケールの設定

インストール後のシステムのデフォルトロケールを設定します (具体的には、`/etc/default/init` ファイル内に LANG 環境変数が定義されます)。

日本語環境をインストールする場合、システムのデフォルトロケールとして必ず日本語ロケールが設定されている必要はありませんが、設定されていることを推奨します。システムのデフォルトロケールとして日本語ロケールが設定されていると、たとえば、システムログイン時の LANG の設定をユーザーごとに環境設定ファイルで定義しなくても済みます。また、`dtlogin` の言語設定で、デフォルトで日本語ロケールが設定されます。

■ GUI (グラフィカル・ユーザーインターフェース) インストールの場合

最初に「Select Language and Locale」画面 (以降「ロケール設定画面」とします) が表示され、ここでデフォルトロケールを設定します。日本語環境でインストールするには、「Japanese EUC (ja)」、「Japanese PC Kanji (ja_JP.PCK)」、または「Japanese UTF-8 (ja_JP.UTF-8)」を選択してください。どれを選択するかわからない場合は、「Japanese EUC (ja)」を選択してください。

ここでの設定は、以後起動されるインストール画面の表示言語も決定します。

■ CUI (キャラクタ・ユーザーインターフェース) インストールの場合

インストール中にシステムのデフォルトロケールを設定することはできません。また、インストール画面も英語による表示だけです。³

システムのデフォルトロケールをインストール後に設定、または変更する場合には、`/etc/default/init` ファイルでの `LANG` 環境変数の設定を次のようにしてから、システムを再起動します。

ja ロケールに設定	<code>LANG=ja</code>
ja_JP.PCK ロケールに設定	<code>LANG=ja_JP.PCK</code>
ja_JP.UTF-8 ロケールに設定	<code>LANG=ja_JP.UTF-8</code>
C ロケールに設定	<code>LANG=C</code> または、 <code>LANG=</code> の行を削除

また、インストール前にこのデフォルトロケールをあらかじめ設定しておくことも可能です。この事前設定をしておくこと、GUI インストール時にもロケール設定画面が表示されないため、たとえばカスタム `JumpStart` による自動インストールのように意図的にロケール設定画面を表示させたくない場合などに有効です。⁴

インストール言語の設定

言語 (ロケール) に依存するソフトウェアパッケージ (JFP パッケージ) のインストールを決定します。日本語環境をインストールするには、必ず JFP パッケージをインストールする必要があります。JFP パッケージについての詳細は、『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』の「Solaris 7 - 3/99 パッケージ情報」(package ファイル) を参照してください。

3. グラフィカルモニターを装備していないシステムで、Solaris Web Start 1.0 のクライアントサーバーモードによるインストールを行なわなかった (あるいは行えなかった) 場合には、CUI インストールになります。
4. デフォルトロケールの事前設定を行うには、「ネームサービスに事前に定義しておく方法」または「`sysidcfg` ファイルを使用する方法」の 2 通りがあります。詳しくは、『Solaris のインストール (上級編)』を参照してください。

Solaris 7 - 3/99 では、ja ロケール環境、ja_JP.PCK ロケール環境、ja_JP.UTF-8 ロケール環境、そしてそれらの任意の混在環境をインストールすることが可能です。

■ 従来の対話式インストールの場合

「言語の選択 (Select Languages)」画面でインストールする日本語ロケールを選択します。この画面では、あらかじめ選択されたデフォルトロケールが自動的に選択された状態になっています。

たとえば、ja と ja_JP.PCK の両ロケール環境をインストールするには、ja と ja_JP.PCK の両方を選択します。

■ Solaris Web Start 1.0 インストールの場合

従来の対話式インストールと同様の方法で、Solaris ソフトウェアおよびインストールする同梱ソフトウェアの各々に対して、日本語ロケールを指定します。なお、日本語化されている製品はそのサポートロケールが表示されており、あらかじめ選択されたデフォルトロケールが自動的に選択された状態になっています。

■ カスタム JumpStart インストールの場合

カスタム JumpStart インストールが参照するプロファイルに locale キーワードを追加します。⁵

ja と ja_JP.PCK の両ロケール環境をインストールする場合のプロファイルの例を次に示します。

キーワード	値
install_type	initial_install
system_type	standalone
partitioning	default
cluster	SUNWCuser
locale	ja
locale	ja_JP.PCK

なお、このようにプロファイル中で locale キーワードを明示的に定義しない場合でも、デフォルトロケールとして日本語ロケールが設定されていれば、そのロケール環境が自動的にインストールされます。ただし、複数の日本語ロケール環境をインストールするには、プロファイルで指定する必要があります。

5. locale キーワードは、JFP パッケージのインストールに影響しますが、システムのデフォルトロケールを決定するものではありません。

オンラインリリース情報

Solaris 7 - 3/99 Software CD には、『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』がテキスト形式で提供されています。本書は、インストールに関連する情報に加えて、『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』を作成後に明らかになった情報を元に作成されているため、適宜、本書と共に以下のオンラインリリース情報を参照してください。

- インストールの情報と注意事項を提供する `installation_bugs` ファイル

注 - 本書の第 4 章は、`installation_bugs` ファイルの内容よりも優先されます。

- 実行時のバグ情報と注意事項を提供する `runtime_bugs` ファイル
- 機能についての情報を提供する `new_features` ファイル
- パッチ情報を提供する `patches` ファイル

注 - Solaris 7 - 3/99 に統合されているパッチの情報は、本書の付録 A をご覧ください。

- パッケージ情報を提供する `package` ファイル
- 製品の中止情報を提供する `eof` ファイル
- ドライバ更新情報を提供する `driverupdate` ファイル
- マニュアルに関する情報を提供する `documentation_issues` ファイル

参照方法

テキストエディタや vi エディタなどを利用して各ファイルを参照することができます。インストール前などに Solaris 7 - 3/99 Software CD から直接参照するには、次のディレクトリにアクセスして各ファイルを参照してください。

```
/cdrom/ja_sol_7_399_sparc/s0/Solaris_2.7/Docs/release_info/<locale>
```

Solaris CDE 環境では、フロントパネルにあるアプリケーションマネージャのアイコンを選択し、「インフォメーション」を選択することによって参照できます。各ファイルは、以下のディレクトリの下に配置されています。

- Solaris 7 - 3/99 全般の情報 - ASCII テキスト (C ロケールの場合)

/usr/share/release_info/Solaris_2.7/C/

- Solaris 7 - 3/99 全般の情報と日本語環境固有の情報 - EUC テキスト (ja ロケールの場合)

/usr/share/release_info/Solaris_2.7/ja/

- Solaris 7 - 3/99 全般の情報と日本語環境固有の情報 - PCK テキスト (ja_JP.PCK ロケールの場合)

/usr/share/release_info/Solaris_2.7/ja_JP.PCK/

- Solaris 7 - 3/99 全般の情報と日本語環境固有の情報 - UTF-8 テキスト (ja_JP.UTF-8 ロケールの場合)

/usr/share/release_info/Solaris_2.7/ja_JP.UTF-8/

インストール方法

『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』は、次のパッケージに含まれています。

- SUNWrdm : On-Line Open Issues ReadMe (英語テキスト)
- SUNWjrdm : Japanese (EUC) On-Line Open Issues ReadMe (EUC テキスト)
- SUNWjprdm : Japanese (PCK) On-Line Open Issues ReadMe (PCK テキスト)
- SUNWjurdm : Japanese (UTF-8) On-Line Open Issues ReadMe (UTF-8 テキスト)

注 - SUNWjrdm、SUNWjprdm、SUNWjurdm は、それぞれコードエンコーディングが違っただけで、記述されている内容は同じです。

「エンドユーザシステムサポート」以上のソフトウェアグループ (クラスタ) でインストールすると、英語版の SUNWrdm パッケージ、およびインストール言語として選択したロケールに依存する日本語パッケージが自動的にインストールされます。

「コアシステムサポート」でインストールする場合には、Solaris インストール時に「ソフトウェアのカスタマイズ」画面で、「On-Line Open Issues ReadMe (SUNWrdm)」パッケージを明示的に追加選択してインストールしてください。

Solaris 7 - 3/99 ソフトウェアのインストール

この章では、SPARC プラットフォームに Solaris 7 - 3/99 を新たにインストールする方法または Solaris 7 - 3/99 にアップグレードする方法について説明します。

Solaris 7 - 3/99 リリースでは、次に示す機能が提供されます。

- 新たにサポートされる SPARC ハードウェアの新規または更新されたデバイスドライバ
- Solaris 7 - 3/99 Documentation CD に含まれている追補マニュアル中に記載されている新機能
- Solaris 7 Maintenance Update™ (MU) パッチ。Solaris システムソフトウェアに組み込まれています。

インストールに関するハードウェア要件については、各ハードウェアのメーカーから提供されている資料を参照してください。

インストールに関する詳細や、新しい機能である Solaris Product Registry の使用方法については、『Solaris 7 のインストール (追補)』を参照してください。

システムのバックアップ

Solaris 7 - 3/99 のインストールを始める前に、必ずファイルシステムのバックアップをとってください。ファイルシステムのバックアップについての詳細は、『Solaris のシステム管理 (第 1 巻)』を参照してください。

Solaris 7 - 3/99 のインストール

Solaris 7 - 3/99 ソフトウェアのインストールには、Solaris Web Start 1.0、JumpStart、カスタム JumpStart、または対話式の、インストール方法を使用できます。Solaris のインストール方法についての詳細は、Solaris 7 - 3/99 Documentation CD (日本語版) に含まれる『Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版)』および『Solaris のインストール (上級編)』を参照してください。

インストール後の確認

インストールが完了したら、3つのファイル `install_log`、`begin.log`、`finish.log` を確認します。

以下のディレクトリに移動し、上記のファイルの内容をエディタで確認してください。

```
# cd /var/sadm/system/logs
```

Solaris 7 をインストールサーバーとして使用する

Solaris 7 をインストールサーバーとして使用する場合、`add_install_client` を実行する前に、Solaris 7 の `/etc/nsswitch.conf` ファイルを変更する必要があります。

1. Solaris 7 の `/etc/nsswitch.conf` ファイルの次の行に移動します。

```
hosts: xfn nis [NOTFOUND=return] files
```

2. `xfn` エントリを削除して、次のようにします。

```
hosts: nis [NOTFOUND=return] files
```

3. Solaris 7 - 3/99 Software CD から、`add_install_client` を実行します。

サーバーからのディスククライアントおよび AutoClient へのインストール

インストールサーバー上に OS サービスを追加する前に、Solstice™ AdminSuite™ 2.3 のパッチ 104468-06 またはこのパッチのアップデート版をインストールする必要があります。このパッチがお手持ちの Solstice AdminSuite 2.3 に含まれていない場合には、ご購入先にパッチの入手方法とパッチのインストール手順をお問い合わせください。

すでにパッチが適用されている Solaris リリースで Solstice AdminSuite を使用する場合、次のファイルを OS サービスに追加しておく必要があります (すべてのパッチを削除することはおすすめできません。また、実際に削除できません)。

```
/var/sadm/patch/.mu_applied
```

このファイルは、次に示す MU リリースによって、自動的に作成されます。

- Solaris 2.5.1: MU3、MU4、MU5
- Solaris 2.6: MU1、MU2
- Solaris 7: MU1



注意 - この方法では、システムに入っているすべてのパッチを追跡する Solstice AdminSuite の機能は動作しません。システムにパッチを追加したりシステムからパッチを削除したりするには、`admclientpatch` を使用してください。

注 - 今回のリリースで新しくサポートされるプラットフォームやオプション機器のリストについては、ハードウェアメーカーから提供される資料を参照してください。

インストール後の確認

インストールが完了したら、3 つのファイル `install_log`、`begin.log`、`finish.log` を確認します。

以下のディレクトリに移動し、上記のファイルの内容をエディタで確認してください。

```
# cd /var/sadm/system/logs
```

Solaris 7 - 3/99 へのアップグレード

アップグレードを開始する前に、33ページの「アップグレードに関する注意事項とバグ情報」を参照してアップグレードに関する注意事項を確認してください。

Solaris 2.5.1 または 2.6 オペレーティング環境からのアップグレード

アップグレードには、JumpStart、カスタム JumpStart、または対話式インストールの、アップグレードオプションを使用します。Solaris のインストール方法についての詳細は、Solaris 7 - 3/99 Documentation CD (日本語版) に含まれる『Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版)』および『Solaris のインストール (上級編)』を参照してください。

注 - アップグレード中に、いくつかのパッケージ (SUNWolrte、SUNWoldcv、SUNWoldte、SUNWolaud を含む) に関するメッセージが表示されますが、すでにインストールされているものと同じアーキテクチャおよびバージョンのパッケージをインストールすることを示すメッセージなので、問題はありません。

```
Doing pkgadd of SUNWolrte to /  
  
This appears to be an attempt to install the same architecture and  
version of a package which is already installed. This installation  
will attempt to overwrite this package.  
  
Installation of <SUNWolrte> was successful...
```

Solaris 7 オペレーティング環境からのアップグレード

Solaris 7 オペレーティング環境のシステムにパッチがインストールされている場合、Solaris 7 - 3/99 にアップグレードすると、次のようになります。

- システムにすでにインストールされているパッチが Solaris 7 - 3/99 システムソフトウェアの一部として提供されている場合、そのパッチは再度適用されます。そのパッチは、削除 (バックアウト) することはできません。

- システムにすでにインストールされているパッチが Solaris 7 - 3/99 システムソフトウェアの一部として提供されていない場合、そのパッチは削除されます。

削除されるパッチを確認するには、次に説明するパッチアナライザを使用します。

Solaris 7 をインストールしていない場合は、25ページの「Solaris 7 オペレーティング環境から Solaris 7 - 3/99 へのアップグレード」を参照してください。

パッチの解析

Solaris 7 - 3/99 オペレーティング環境にアップグレードすることによって削除されるパッチがあるかどうか、ある場合はどのパッチが削除されるかを、パッチアナライザを使用して確認することができます。パッチアナライザは、手動で実行するスクリプトとしてまたは対話式インストールの一部として、利用することができます。

- 対話式インストールでアップグレードする場合、パッチ解析を行うには、解析オプションを選択してください。
- 対話式インストールを使用しないでアップグレードする場合、パッチ解析を行うには、次に説明する手順で `analyze_patches` スクリプトを実行してください。

パッチの解析後、24ページの「パッチ解析結果の確認」を参照して、解析結果を確認してください。

`analyze_patches` スクリプトの実行

`analyze_patches` を実行する手順は、次のとおりです。

注 - `analyze_patches` スクリプトを実行するには、インストール済みシステムと、NFS™ によりマウントされたまたはローカルにマウントされた媒体上にある Solaris 7 - 3/99 Software CD (またはネットワーク上のイメージ) が、スクリプトからアクセスできなければなりません。

1. OS イメージの `Misc` ディレクトリに移動します。

- ローカルにマウントされた媒体にイメージがある場合は、次のコマンドを使用します。

```
# cd /cdrom/ja_sol_7_399_sparc/s0/Solaris_2.7/Misc
```

- NFS によるマウントでイメージを利用できる場合は、次のコマンドを使用します。

```
# cd /NFS_mount_directory/Solaris_2.7/Misc
```

2. `analyze_patches` を実行します。

```
# ./analyze_patches
```

表 3-1 に、コマンド行で使用できるオプションを示します。

表 3-1 `analyze_patches` のコマンド行オプション

オプション	説明
<code>-R rootdir</code>	<code>rootdir</code> は、インストール済みシステムのルートです。デフォルトでは / です。
<code>-N netdir</code>	<code>netdir</code> は、インストールされる OS イメージのルートへのパスです。デフォルトでは <code>/cdrom/cdrom0</code> です。このパスは、 <code>Solaris_2.7</code> ディレクトリを含むディレクトリを指さなければなりません。NFS マウントによって <code>patch_analyzer</code> を実行する場合は、このオプションを使用する必要があります。
<code>-D databasedir</code>	OS イメージ上の <code>Misc</code> 以外のディレクトリからスクリプトを起動する場合、そのプログラムはパッチ解析に使用するデータベースを見つけることができません。このため、 <code>-D</code> オプションを使用し、データベースへのパスを指定します。このデータベース (OS イメージ上の <code>/Solaris_2.7/Misc/database</code> に含まれる) がないと、スクリプトが正しく動作しません。

パッチ解析結果の確認

パッチ解析を実行後、次のようにして結果を確認してください。

1. `analyze_patches` スクリプトの出力を調べます。

- 他のパッチによって削除、ダウングレード、アップグレードされるパッチのリストが出力されます。アップグレードされる場合、古いパッチは削除され、新しいパッチの内容が適用されます。
たとえば、次のように出力されます。

```
Patch 105644-03 will be removed.
Patch 105925 will be downgraded from -02 to -01.
Patch 105776-01 will be accumulated/obsoleted by patch 105181-05.
```

- パッチ解析を実行しても何も出力されない場合は、システムにすでにインストールされているパッチに対して何も影響はありません。
2. パッチの置き換えまたは削除を実行するかどうかを調べます。
- Solaris 7 - 3/99 によるパッチの置き換えまたは削除を実行してもよい場合は、25ページの「Solaris 7 オペレーティング環境から Solaris 7 - 3/99 へのアップグレード」に進んでください。
 - Solaris 7 - 3/99 によって、以前にインストールしたパッチの置き換えまたは削除が行われたいようにしたい場合は、Solaris 7 - 3/99 Software CD を使用してアップグレードを行わないでください。Solaris 7 Maintenance Update 1 CD と『Solaris 7 Maintenance Update 1 ご使用にあたって (SPARC 版)』を使用して、現在の Solaris 7 システムにパッチをインストールしてください。

Solaris 7 オペレーティング環境から Solaris 7 - 3/99 へのアップグレード

アップグレードには、JumpStart、カスタム JumpStart、または対話式インストールの、アップグレードオプションを使用します。Solaris のインストール方法についての詳細は、Solaris 7 - 3/99 Documentation CD (日本語版) に含まれる『Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版)』および『Solaris のインストール (上級編)』を参照してください。

注 - アップグレード中に、いくつかのパッケージ (SUNWolrte、SUNWoldcv、SUNWoldte、SUNWolaud を含む) に関するメッセージが表示されますが、すでにインストールされているものと同じアーキテクチャおよびバージョンのパッケージをインストールすることを示すメッセージなので、問題はありません。

```
Doing pkgadd of SUNWolrte to /

This appears to be an attempt to install the same architecture and
version of a package which is already installed. This installation
will attempt to overwrite this package.

Installation of <SUNWolrte> was successful...
```

アップグレード後の確認

アップグレードが完了したら、upgrade_log ファイルを確認します。

以下のディレクトリに移動し、上記のファイルの内容をエディタで確認してください。

```
# cd /var/sadm/system/logs
```

アップグレード後のサーバーからの、ディスクレスクライアントおよび **AutoClient** のアップデート

インストールサーバー上に OS サービスを追加する前に、Solstice AdminSuite 2.3 のパッチ 104468-06 またはこのパッチのアップデート版をインストールする必要があります。このパッチがお手持ちの Solstice AdminSuite 2.3 に含まれていない場合には、ご購入先にパッチの入手方法とパッチのインストール手順をお問い合わせください。

すでにパッチが適用されている Solaris リリースで Solstice AdminSuite を使用する場合、次のファイルを OS サービスに追加しておく必要があります (すべてのパッチを削除することはおすすめできません。また、実際に削除できません)。

```
/var/sadm/patch/.mu_applied
```

このファイルは、次に示す MU リリースによって、自動的に作成されます。

- Solaris 2.5.1: MU3、MU4、MU5
- Solaris 2.6: MU1、MU2

- Solaris 7: MU1



注意 - この方法では、システムに入っているすべてのパッチを追跡する Solstice AdminSuite の機能は動作しません。システムにパッチを追加したりシステムからパッチを削除したりするには、`admclientpatch` を使用してください。

Solaris 7 - 3/99 ソフトウェアのバージョンの確認

Solaris 7 - 3/99 ソフトウェアのバージョンを確認するには、次のように実行します。

```
# cat /etc/release
```


インストールに関する注意事項とバグ情報

この章では、Solaris 7 - 3/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』の `installation_bugs` ファイルを作成後に明らかになった、インストールに関する最新情報や既知の問題について説明します。

Solaris 全般に関する (ロケールに共通の) 情報と、日本語環境に固有の情報とを分けて説明しています。29ページの「Solaris 7 - 3/99 インストールの注意事項とバグ情報」には、Solaris 7 - 3/99 全般に関する情報が記載されています。37ページの「Solaris 7 - 3/99 インストールの注意事項とバグ情報 (日本語環境固有)」には、日本語環境に固有の情報のみが記載されています。

注 - 本章の内容を理解してからインストールを開始してください。この章に記載されている情報は、Solaris 7 - 3/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』の `installation_bugs` ファイルの内容よりも優先されます。オンラインリリース情報については、17ページの「オンラインリリース情報」の説明を参照してください。

Solaris 7 - 3/99 インストールの注意事項とバグ情報

この節では、主に次の情報について説明します。

- Solaris Web Start 1.0 インストールに関する情報
- 対話式インストールに関する情報

- アップグレードに関する情報
- 64 ビット Solaris のインストールに関する情報

Solaris Web Start 1.0 インストールに関する注意事項とバグ情報

この節では、Solaris Web Start 1.0 を使用してインストールを行う場合に発生する問題について説明します。この節に記載されている問題は、Solaris 対話式インストールプログラムを使用する場合には発生しません。

Solaris Web Start 1.0 についての詳細は、『Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版)』の「Solaris Web Start の使い方」を参照してください。

クライアントサーバーモードにおけるブラウザサポートの制限

Solaris Web Start 1.0 のクライアントサーバーモードを使用するには、クライアント上に次の2つのソフトウェア構成のうちのどちらか1つがインストールされている必要があります。

- Solaris 2.6、Solaris 7、Solaris 7-3/99 のいずれかと、HotJava™ ブラウザ、Netscape Navigator™ 4.0 ブラウザ、Netscape Navigator 4.5 ブラウザのいずれか
- Windows 95 と、HotJava ブラウザ、Netscape Navigator 4.0 ブラウザ、Netscape Navigator 4.5 ブラウザのいずれか

Internet Explorer や、上記よりも古いバージョンの HotJava および Netscape Navigator では、Solaris Web Start 1.0 の実行または表示が正常に行われません。

上記の制限事項は、Solaris 対話式インストールプログラムを使用するときには発生しません。

ルート (/) ファイルシステムを移動できない (バグ ID: 4046659)

Solaris Web Start 1.0 ではシステムディスクを選択できますが、その後にルート (/) ファイルシステムをシステムディスクから移動できません。

回避方法：ルート (/) ファイルシステムをシステムディスクから移動する必要がある場合は、Solaris Web Start 1.0 ではなく Solaris 対話式インストールプログラムを使用してください。

製品がすべての予約領域を使用しない (バグ ID: 4059182)

Solaris Web Start 1.0 は、インストールするすべての製品に必要な合計ディスク容量に基づいてディスク容量を確保します。インストール後、製品を使用する前にディスク容量の割り当てをチェックすると、かなりの容量が未使用であるように見えます。この容量の一部は未使用のままになる場合もありますが、一部はソフトウェアを実行するときに使用されます。

回避方法 : Solaris Web Start 1.0 が必要とする容量よりも少ないディスク容量を割り当てたい場合は、Solaris Web Start 1.0 ではなく Solaris 対話式インストールプログラムを使用してください。

対話式インストールに関する注意事項とバグ情報

この節では、対話式インストールに関連する問題について説明します。

JumpStart の動作

JumpStart でシステム (新しいシステムおよびインストール済みのシステムを含む) を起動すると Solaris Web Start 1.0 の初期画面が表示されますが、Solaris Web Start 1.0 を終了すれば、JumpStart インストールを実行できます。

Solaris dtlogin 画面

システムを初めて起動すると、どのデスクトップを使用するかにかかわらず、デフォルトでログイン画面が表示されます。使用するデスクトップを、そのログイン画面で選択することができます。またログイン画面では、ユーザー名とパスワードを入力します。ユーザー名とパスワードが認証されると、デスクトップが表示されます。ログイン画面についての詳細は、dtlogin のマニュアルページ (Solaris CDE マニュアルページに含まれている) または『Solaris 共通デスクトップ環境 上級ユーザ及びシステム管理者ガイド』を参照してください。

dtlogin に関するシステム管理者向けの注意事項

Solaris CDE システムを運用するシステム管理者は、Solaris CDE の GUI によるログインプログラム (dtlogin) に関する知識を持っている必要があります。『Solaris 共通デスクトップ環境 上級ユーザ及びシステム管理者ガイド』または dtlogin および dtconfig のマニュアルページを参照してください。

ファイルシステムのマウントでエラーが発生してインストールが失敗する (バグ ID: 4164303)

次のメッセージが表示されます。

```
The Solaris operating environment on slice c0t0d0s0 cannot be upgraded.  
A file system listed in the file system table (vfstab) could not be mounted.
```

ルート (/) の i ノード用にストライプされた DiskSuite™ メタデバイスに格納されている i ノードに、インストールプログラムが割り込み、そのメタデバイスをアップグレード可能なスライスとしてマウントしようとしたと考えられます。この問題が発生した場合は、マウントが失敗してインストールが異常終了します。

リブート後に TotalNET Advanced Server (SunLink) ドライバでパニックが発生する (バグ ID: 4121961)

次のような警告メッセージが表示されます。

```
Warning: mod_install: MT-unsafe driver 'tnatp' rejected panic[cpu0] /  
thread=7051e040:mutex-enter:bad_mutex lp=1046aa20 owner=7051e040 thread=7051e040
```

ドライバの衝突が発生するため、Solaris 7 オペレーティング環境では TotalNET Advanced Server (SunLink™) をバージョン 5.2 へアップグレードする必要があります。TotalNET Advanced Server 5.0 および 5.1 では、Solaris 7 オペレーティング環境が正常にブートしません。

回避方法 : Solaris 7 オペレーティング環境をインストールする前に、インストールされている TotalNET Advanced Server のすべての構成要素をバージョン 5.2 にアップグレードする必要があります。TotalNET Advanced Server 5.2 は、Solaris Easy Access Server 2.0 CD から入手することができます。アップグレード方法については、添付のマニュアルを参照してください。

インストールの進捗を示すスケール表示が不正確 (バグ ID: 1266156)

Solaris ソフトウェアのインストール中であるにもかかわらず、「Solaris ソフトウェアのインストール - 実行中」で表示されるスケールが、インストールが完了したことを示す場合があります。スケールがインストール完了を示した後も、イン

ストールプログラムがパッケージを追加していることがあります。インストールが完了したかどうかを、スケール表示で判断しないでください。すべてのインストール処理が完了すると、次のメッセージが表示されます。

```
インストールが完了しました
```

JumpStart が間違ったデフォルトのブートディスクにインストールする (バグ ID: 4027156)

JumpStart が、現在のデフォルトのブートディスクにインストールしないことがあります。この場合、現在のバージョンではなく、既存のバージョンの Solaris オペレーティング環境がリブートされます。この問題は、2つのハードディスクドライブを持つ SPARCstation™ 5 上で完全な自動インストールを行なった場合に発生することが確認されています。

回避方法 : JumpStart を使用しないで Solaris オペレーティング環境をインストールしてください。

アップグレードに関する注意事項とバグ情報

この節では、アップグレード時にのみ発生する問題について説明します。

ディスクレスクライアントのインストールでサーバー上の dfstab ファイル内の変更が保存されない (バグ ID: 4045544)

ディスクレスクライアントを持つサーバーの Solaris オペレーティング環境をアップグレードするとき、/usr に対する dfstab 行のオプションが保存されません。たとえば、dfstab ファイルに次のように入力したとします。

```
share -F nfs -o rw /export/exec/Solaris_2.7_sparc.all/usr
```

アップグレード時に、このエントリが自動的に次のように置換されてしまいます。

```
share -F nfs -o ro /export/exec/Solaris_2.7_sparc.all/usr
```

回避方法 : ディスクレスクライアントまたは Solstice™ AutoClient™ を持つ OS サーバーで Solaris オペレーティング環境をアップグレードする前に、各クライアントの /etc/dfs/dfstab ファイルのバックアップを取っておいてください。

複数のアーキテクチャを持つサーバーにパッチを適用できない (バグ ID: 1249343)

複数の SPARC カーネルアーキテクチャのディスクレスクライアントを持つサーバー (たとえば、sun4c、sun4d、sun4m アーキテクチャのディスクレスクライアントを持つ sun4u サーバー) をアップグレードした後、サーバーとはカーネルアーキテクチャが異なるクライアントの SUNWkvm パッケージには、パッチを適用できません。

回避方法 : SUNWkvm に関連するパッチを適用する前に、手動ですべての SUNWkvm パッケージを追加してください。

```
# pkgadd -d SUNWkvm.*
```

アップグレードできるシステムがディスク容量不足のためにアップグレードできないと間違っって判断される (バグ ID: 4041733)

アップグレードプログラムは、Solaris ソフトウェアのシステムをアップグレードするために必要な容量よりも 30% 多くの容量を見積もります。したがって、アップグレードできるシステムでも、パッケージの選択を解除したり、容量を増やしたりしないとアップグレードできない場合があります。

回避方法 : 手動でファイルシステムのディスク容量を再度割り当ててください。または、「ソフトウェアのカスタマイズ」メニューを選んで、不要なソフトウェアパッケージを削除してください。

Solaris 2.6 ハードウェアリリース 3/98 からのアップグレード後に、sun4m の Solstice AutoClient がキャッシュをマウントできない (バグ ID: 4121951)

システムのリポート時に、Solstice AutoClient から次のようなメッセージが出力されます。

```
fsck -F cacheufs: Cache directory /.cache/rootcache does not exist.  
mount -F cacheufs: cache fsck mount failed  
fsck -F cacheufs: Cache directory /.cache/rootcache does not exist.  
mount -F cacheufs: cache fsck mount failed
```

/ (ルート) ファイルシステムのファイルシステムの種類が `cacheufs` であることが、カーネルに対して通知されています。この問題によって影響を受ける `Solstice AutoClient` があるかどうかを、システムのアップグレード前に調べるには、サーバー上の `/export/root/<クライアント名>/var/sadm/pkg` ディレクトリ (`Solstice AutoClient` 上の `/var/sadm/pkg` ディレクトリ) を確認してください。このディレクトリに `TADcar` というサブディレクトリがある場合は、上記の問題によって影響を受ける `Solstice AutoClient` があります。

回避方法: アップグレード後に、`Solstice AutoClient` の `/etc/system` ファイル中に次の行を追加してください。

```
rootfs:cacheufs
```

`Solstice AutoClient` 上の `/etc/system` ファイルが、サーバー上に `/export/root/<クライアント名>/etc/system` として格納されます。

インストール全般に関するバグ情報

ファイルシステムの作成時に警告メッセージが出力されることがある (バグ ID: 4189127)

インストール中にファイルシステムを作成しているときに、次のどちらかの警告メッセージが出力されることがあります。

```
Warning: inode blocks/cyl group (87) >= data blocks (63) in last  
cylinder group. This implies 1008 sector(s) cannot be allocated.
```

```
Warning: 1 sector(s) in last cylinder unallocated
```

作成中のファイルシステムと等しい容量が、使用しているディスク上の領域に割り当てられない時に、上記の警告メッセージが表示されます。この場合、ディスク上に未使用の領域ができ、その領域は作成中のファイルシステムに取り込まれません。また、この未使用のディスク領域は、他のファイルシステムでも利用されません。

回避方法: 問題は発生しないので、上記の警告メッセージは無視してください。

OS サーバーに Solaris 7 OS サービスを追加すると、追加に失敗したというメッセージが出力される (バグ ID: 4171470)

OS サーバーに OS サービスとして Solaris 7 システムソフトウェアを追加すると、次のようなエラーメッセージが表示されます。

```
os_server: Error: Error adding OS service Solaris 2.7 i386 i86pc:
service modification failed.
See /var/sadm/system/logs/upgrade_log for more information
(/var/sadm/install_data/upgrade_log on Solaris 2.3 or 2.4).
```

`os_server` の部分は、OS サーバーの名前になります。

上記のログファイルを見ると、次のようなメッセージで SUNWplow パッケージの追加に失敗していることがわかります。

```
Doing pkgadd of SUNWplow to /.
ERROR: attribute verification of <export/exec/Solaris_2.7_i386.all/etc/default/
init> failed
pathname does not exist
```

回避方法: エラーメッセージを無視してください。

64 ビット Solaris に関する注意事項とバグ情報

64 ビット Solaris のインストールに関連する情報について説明します。

Sun UltraSPARC システム (sun4u) はブート Flash PROM (OpenBoot) をアップグレードする必要がある

UltraSPARC™ システム上で 64 ビット Solaris オペレーティング環境を実行する場合、Flash PROM ファームウェアのアップグレードが必要な場合があります。Solaris 7 インストールプログラムには 64 ビットサポートを追加する選択肢があります。UltraSPARC システムにインストールする場合には、この 64 ビットサポートがデフォルトで選択されます。

注 - Sun システムまたは UltraSPARC システムで 32 ビット Solaris オペレーティング環境を実行する場合は、Flash PROM をアップグレードする必要はありません。

次の表に、UltraSPARC (sun4u) システムと必要な最小限のファームウェアバージョンを示します。この表に記載されていないシステムでは、Flash PROM をアップグレードする必要はありません。「システムタイプ」は、`uname -i` コマンドによって出力される内容です。また、`prtconf -v` コマンドによって、現在実行しているファームウェアのバージョンを調べることができます。

システムタイプ (uname -i で出力される)	必要最小限のファームウェアバージョン (prtconf -v で出力される)
SUNW,Ultra-1-Engine	3.10.0
SUNW,Ultra-1	3.11.1
SUNW,Ultra-2	3.11.2
SUNW,Ultra-4	3.7.107
SUNW,Ultra-Enterprise	3.2.16

注 - Solaris CD を利用して Flash PROM をアップグレードする方法については、『Solaris 7 Sun Hardware Platform Guide』を参照してください。このマニュアルは、<http://docs.sun.com> から入手できます。

Solaris 7 - 3/99 インストールの注意事項とバグ情報 (日本語環境固有)

この節では、日本語環境に固有の次の情報について説明します。

- Solaris Web Start 1.0 インストールに関する情報
- アップグレードに関する情報
- インストール全般に関する情報

Solaris Web Start 1.0 インストールに関する注意事項とバグ情報

この節では、Solaris Web Start 1.0 を使用する場合のインストールに関する、日本語環境に固有の問題について説明します。この節に記載されている問題は、Solaris 対話式インストールプログラムを使用するときには発生しません。

システムの最小要件

Solaris Web Start 1.0 を使用するには、システムが次の要件を満たしている必要があります。

- 1.05G バイト以上の容量を持つブートディスク

Solaris Web Start 1.0 を実行するには、1.05G バイト以上のブートディスク (フォーマット済み、ラベル指定済み) が必要です。このディスクをもとにして、プログラムは、選択した製品をインストールするためのディスク容量がシステムにあるかどうかを調べます。サーバーソフトウェアをインストールするには、4.2G バイトのディスクを推奨します。

- 日本語ロケールで 64M バイト以上、英語ロケールで 48M バイト以上の物理メモリー (RAM)

Solaris Web Start 1.0 をスタンドアロン (インストールするマシン上) で実行する場合およびクライアントサーバーモード (ネットワークに接続されている別のシステム上) で実行する場合に必要なメモリー容量は、次のとおりです。

	スタンドアロン	クライアントサーバーモード
日本語ロケール (日本語表示)	64M バイト以上	64M バイト未満 32M バイト以上
英語ロケール (英語表示)	48M バイト以上	48M バイト未満 32M バイト以上

システムがこれらの要件に適合しない場合は、Solaris Web Start 1.0 の代わりに、Solaris 対話式インストールプログラムを使用してください。

なお、英語ロケール (英語表示) で Solaris Web Start 1.0 を実行して日本語環境をインストールするには、以下の手順で行なってください。

1. インストールの始めに表示されるデフォルトロケール画面で英語ロケールを選択します。

2. 各ソフトウェアに対して、インストール言語として日本語ロケールを明示的に指定します。
3. インストールが完了したらシステムを再起動し、システムデフォルトロケールを日本語ロケールに設定します。

日本語の **AnswerBook 文書** や **Netscape Communicator 4.5** をインストールする場合の注意事項

Solaris 7 - 3/99 Documentation CD (日本語版) や Solaris Easy Access Server 2.0 Documentation CD に含まれている AnswerBook 文書、および Netscape Communicator 4.5 の日本語パッケージは、各日本語ロケールで共通のものです。これらを Solaris Web Start 1.0 のカスタムインストールによってインストールする場合、ソフトウェアの選択画面で複数の日本語ロケールが表示されますが、どれか 1 つのロケールが選択されていれば、必要な日本語パッケージがインストールされます。

メモリー不足により **Solaris Web Start 1.0** を継続できない (バグ ID: 4062728)

Solaris Web Start 1.0 の使用中に次のいずれかの警告メッセージが表示され、設定操作を継続できなくなる場合があります。

このシステムには Solaris Web Start を実行するために十分なディスク領域がありません。

ディスク容量が不足しているため、選択したすべてのソフトウェアをインストールできません。インストールするソフトウェアの数を減らしてください。

ソフトウェアのインストールに十分なディスク容量があるにもかかわらず、これらのメッセージが表示された場合は、Solaris Web Start 1.0 を実行するためのメモリーが不足している可能性があります。

たとえば、64M バイト以下のメモリーを持つシステムでヘルプの参照や設定操作を何度も繰り返した場合などに、メモリー不足が発生します。

回避方法 : HotJava をメニューから終了し、Solaris Web Start 1.0 を再起動してください (ブラウザ画面左上にあるボタンメニューから「終了」を選択し、次に表示されるポップアップ画面で「継続」を選択します)。

それでも同じ状況になってしまう場合には、対話式インストールを行うか (Solaris Web Start 1.0 の初期画面で「終了」ボタンを選択します)、英語表示で Solaris Web Start 1.0 を実行してください。

クライアントサーバーモードで **Solaris Web Start 1.0** インストールを行なった時に、**HotJava** がコアダンプする (バグ ID: **4064364**)

日本語ロケール (日本語表示) で Solaris Web Start 1.0 のクライアントサーバーモードを使用したインストールを行う場合に、ブラウザとして HotJava を使用すると、インストールの途中で HotJava がコアダンプします。

回避方法: \$HOME/.hotjava/properties ファイルに次の 1 行を追加して HotJava を再起動してください。なお、インストールが終了したら、この行は削除してください。

```
package.restrict.access.sun=false
```

端末コンソールからクライアントサーバーモードで **Solaris Web Start 1.0** インストールを開始した場合、ヘルプなどが英語で表示される (バグ ID: **4076859**)

端末コンソールしか持たないシステムを Solaris Web Start 1.0 のクライアントサーバーモードを使用してインストールする場合、ロケールの選択をする機能がないため、c ロケールを使用して起動されます。クライアント側で日本語ロケールを使って HotJava を起動した場合、一部のメッセージは日本語で表示されますが、オンラインヘルプなどは英語で表示されます。

クライアントサーバーモードでは検索ができない (バグ ID: **4076485**)

クライアントのデフォルトロケールに日本語ロケールを選択した場合、日本語文字および英数字の検索ができません。

回避方法: クライアントを c ロケールで起動すると、英数字の検索ができます。

スワップ不足によって **Solaris Web Start 1.0** が同梱のソフトウェアのインストールに失敗する (バグ ID: 4177538)

同梱されている CD を Solaris Web Start 1.0 でインストール中にスワップ不足が発生し、コンソールに次のエラーメッセージが繰り返し表示されて、インストールに失敗することがあります。また、このエラーメッセージが文字化けすることがあります。

```
MYRun Error:java.io.IOException: not enough disk space
```

これは、64M バイト以下の物理メモリーのシステムに、同梱の多くのソフトウェアをインストールする場合に発生します。

回避方法 : 以下のいずれかの方法で対処してください。

■ 回避方法 1

1. 端末エミュレータなどで `reboot` コマンドを実行してシステムをリブートします。

システムがリブートすると、Solaris Web Start 1.0 がリブート前の状態で起動されます。

2. 「再開」ボタンをクリックして、インストールを続行します。

リブート前にインストールが完了したソフトウェアについて、インストールが失敗したように Solaris Web Start 1.0 の画面に表示されることがありますが、インストールは完了していますので問題ありません。

■ 回避方法 2

Solaris Web Start 1.0 のカスタムインストールでインストールを最初からやり直してください。その際に、物理メモリーとスワップ領域の合計サイズが SPARC システムの場合は最低 224M バイト、Intel システムの場合は最低 256M バイトになるように、スワップ領域のサイズを確保してください。

Solaris Easy Access Server 2.0 Documentation CD に含まれている「**Release Notes**」中の各ドキュメントがインストールされない (バグ ID: 4177894)

Solaris Web Start 1.0 では、Solaris Easy Access Server 2.0 Documentation CD に含まれている「Release Notes」中のドキュメントをインストールすることができません。

回避方法 : Solaris Easy Access Server 2.0 Documentation CD に含まれている Solaris Web Start 2.0 (installer) を使用して、必要なドキュメントをカスタムインストールでインストールしてください。

アップグレードに関する注意事項とバグ情報

アップグレードに関する、日本語環境に固有の問題について説明します。

Solaris 7 アップグレードインストールのサポート範囲

Solaris 7 をアップグレードオプションによってインストールする場合、Solaris 2.5 以降のシステムからのアップグレードをサポートします。それより前のリリースからのアップグレードは保証されません。

アップグレードでのロケールサポート

アップグレード時に新たなロケールサポートを追加できます。その場合「言語の選択」画面で追加したいロケールを追加選択します。

なお、現在インストールされているロケールをアップグレード時に削除することはできません。また、現在インストールされているロケールとは異なるロケールへアップグレードすることはできません。たとえば、ja ロケールだけをインストールしたシステムを ja_JP.PCK ロケールだけのシステムにアップグレードすることはできません。

「日本語 Solaris 2.5.1 PC 漢字コード開発キット」が入ったシステムからのアップグレード

Solaris 2.5.1 に同梱されていた「日本語 Solaris 2.5.1 PC 漢字コード開発キット」がインストールされているシステムを Solaris 7 にアップグレードする場合、それをサポートするパッケージ (SUNWjpr、SUNWjpu、SUNWjpxw) は自動的に削除されます。ja_JP.PCK ロケール環境をインストールするには、「言語の選択」画面で「Japanese PC Kanji (ja_JP.PCK)」を追加選択してください。

Wnn6 に関するアップグレード時の注意事項

Solaris 2.5 (SMCC 版) および Solaris 2.5.1 (SMCC 版) で提供されていた Wnn6 (OMRONWnn6) を使用していたシステムでアップグレードインストールを行なった場合、/opt/Wnn6/lib/ja_JP/dic/usr に置かれていたユーザー辞書や学習ファイルは自動的に /var/locale/ja/wnn/ja/dic/usr にコピーされ、新しい環境に引き継がれます。ユーザー辞書などが不要な場合は、

/var/locale/ja/wnn/ja/dic/usr ディレクトリに作成されたユーザーのディレクトリを削除してください。

OMRONWnn6 で変更した設定ファイル (/opt/Wnn6/lib ディレクトリに置かれます) は、自動的に引き継がれません。必要に応じて /etc/lib/locale/ja/wnn ディレクトリにあるファイルを編集してください。標準のファイルは /usr/lib/locale/ja/wnn に置かれます。

OMRONWnn6 は、アップグレードインストールでは削除されません。必要に応じて、アップグレード後に削除してください。ただし、OMRONWnn6 を削除すると、/opt/Wnn6 に置かれたすべてのファイル (変更された設定ファイル、ユーザー辞書、学習ファイルを含みます) が削除されますので、十分に注意してください。

インストール全般に関する注意事項とバグ情報

日本語環境に固有のインストールに関する注意事項とバグ情報について説明します。

スワップ不足によって **Solaris Web Start 2.0** インストールが失敗する (バグ ID: 4166394)

同梱されている CD をその CD に含まれている Solaris Web Start 2.0 (installer) を使用して日本語ロケール (日本語表示) でインストールしている時に、スワップ容量が不足したためにインストールが失敗することがあります。この場合、コンソールにエラーメッセージが表示されますが、そのエラーメッセージが次のように文字化けします。

```
RunCmd Error:java.io.IOException: ??????????????????????
```

回避方法 : 同梱されている CD に含まれている Solaris Web Start 2.0 は、実行時におよそ 50M バイトのメモリーを消費します。Solaris Web Start 2.0 を使用してインストールする場合は、`swap -s` コマンドなどで空きスワップ容量を確認し、不足している場合は、メモリーの消費量が多いアプリケーションを終了するか、あるいはスワップファイルを作成してスワップ領域を追加してください。詳細は `swap (1M)` のマニュアルページを参照してください。

デフォルトロケールに関係なくインストールログが EUC テキストファイルで生成される

選択したデフォルトロケールに関係なく、install_log、upgrade_log などの Solaris のインストールログファイルは、EUC (ja ロケール) テキストとして生成されてしまいます。なお、同梱のソフトウェアを Solaris Web Start でインストールした場合に生成されるログファイル bundled_install_log は、デフォルトロケールで選択した文字エンコーディングのテキストで生成されます。

回避方法：コードコンバータで変換して参照するか、たとえばテキストエディタなどの GUI ツールを ja ロケールで起動して参照してください。

Solaris 2.5.1 システム上への Netscape Communicator 4.5 のインストール

Solaris 2.5.1 オペレーティング環境のシステム上に Solaris Web Start 2.0 インストールプログラム (installer) を使用して、Netscape Communicator 4.5 をインストールする場合には、必ず /cdrom/ja_netscape/Patches/sparc/Sol_2.5.1 に含まれる 3 つのパッチをインストールしてから、Solaris Web Start 2.0 を実行してください。

また、Solaris 2.5.1 システム上にインストールしたパッケージを削除するには、pkgrm コマンドを使用してください。

Solaris 7 でサポートされる日本語入力システムとその切替方法

Wnn6、ATOK8、cs00 が日本語入力システムとして利用できます。これらは Solaris 7 - 3/99 Software CD に含まれており、「エンドユーザシステムサポート」以上のソフトウェアグループでデフォルトでインストールされます。

環境ファイルを特に設定していない場合のデフォルトの日本語入力システムは、Wnn6 です。Wnn6 がインストールされていない場合は、ATOK8 がデフォルトとなります。

現在使用している日本語入力システムを他の入力システムに切り替える場合は、ワークスペースメニュー (OpenWindows 環境の場合は「ワークスペース」→「ユーティリティ」) の「日本語入力システムの切替」から利用したい日本語入力システムを選択し、ウィンドウシステムを再起動してください。また、直接コマンド行から wnn6setup、atok8setup、または cs00setup と入力して、設定を切り替えることもできます。この場合もウィンドウシステムを再起動してください。

使用しない日本語入力システムをインストールしない方法

使用しない入力システムは、インストール時に「ソフトウェアのカスタマイズ」画面でそのクラスタ (またはパッケージ) の選択を解除することによって、インストールしないようにできます。たとえば、cs00 を使用しない場合は「Japanese Input System - cs00」の選択を解除します。

ただし、アップグレードインストールの場合に、これまで使用していた ATOK8 または cs00 の選択を解除すると、システム上からその入力システムをサポートするシステムファイルも削除されてしまいます。このため、単語を追加登録したシステム辞書などの保存しておきたいファイルがある場合は、アップグレード前にファイルを保存するか、あるいはアップグレードインストール時に、使用しない日本語入力システムを含めてインストールし、アップグレードインストール後に必要なファイルを保存した後に、pkgrm コマンドでそのパッケージを削除してください。

cs00 に関するインストール時の注意事項

Solaris 2.6 から、cs00 は「コアシステムサポート」ソフトウェアグループには含まれなくなりました。Solaris 2.5.1 以前の「コアシステムサポート」でインストールされたシステムをアップグレードすると、システム上から cs00 をサポートするシステムファイルが削除されますので注意してください。

cs00 を利用する場合は、「エンドユーザシステムサポート」以上のソフトウェアグループを選択するか、インストール時に「Japanese Input System - cs00」クラスタを追加選択するか、インストール後に pkgadd コマンドにより次のパッケージをインストールしてください。

- SUNWjc0r : Japanese Kana-Kanji Conversion Server cs00 Root File
- SUNWjc0u : Japanese Kana-Kanji Conversion Server cs00 User Files
- SUNWjc0w : Japanese cs00 user dictionary maintenance tool for OPEN LOOK
- SUNWjc0d : Japanese cs00 user dictionary maintenance tool for CDE Motif

なお、かな漢字入力機能を持たない漢字表示可能な端末および端末エミュレータ上で日本語を入力するためのフロントエンドプロセッサ m1e を利用する際にも、cs00 が必要になります。

日本語キーボード入力

日本語タイプ 5 キーボードは OpenBoot PROM のバージョンによっては、モニターレベルでタイプ 4 キーボードとして動作します。そのため、モニターレベルでは、

キーボード上の印字と実際の入力の一部異なります。次の表を参照してください。その他の注意事項は、U.S. タイプ 5 キーボードと同じです。『Sun タイプ 5 キーボードプロダクトノート』を参照してください。

表 4-1 日本語キーボード上の印字と実際の入力文字

日本語タイプ 5 キーボード上の印字	実際の入力文字
"	@
&	^
'	&
(*
)	(
Shift-0)
=	-
~	+
^	=
¥	\
@	[
'	{
[]
{	}
+	:
:	'
*	"
]	'
}	~
-	LF
\	LF

実行時の注意事項とバグ情報

この章では、Solaris 7 - 3/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』の runtime_bugs ファイルを作成後に明らかになった、実行時のバグ情報と注意事項について説明します。オンラインリリース情報については、17ページの「オンラインリリース情報」の説明を参照してください。

Solaris 全般に関する情報と、日本語環境に固有の情報とを分けて説明しています。47ページの「Solaris 7 - 3/99 実行時の注意事項とバグ情報」には、Solaris 7 - 3/99 全般に関する情報が記載されています。49ページの「Solaris 7 - 3/99 実行時の注意事項とバグ情報 (日本語環境固有)」には、日本語環境に固有の情報のみが記載されています。

注 - この章に記載されている情報は、Solaris 7 - 3/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』の runtime_bugs ファイルの内容を補足するものです。

Solaris 7 - 3/99 実行時の注意事項とバグ情報

この節では、Solaris 7 - 3/99 実行時の注意事項およびバグ情報について説明します。

Solaris CDE に関するバグ情報

フロッピーディスクのフォーマットウィンドウが終了しない (バグID: 4211612)

ファイル・マネージャを使用してフロッピーディスクのフォーマットをする場合、フォーマットウィンドウが繰り返し表示されて、フォーマットができないことがあります。

回避方法: 以下のようにして、いったんコマンド行からフロッピーディスクを取り出し、フォーマットウィンドウを終了してください。

```
% eject
```

その後、『Solaris のシステム管理 (第 1 巻)』の「コマンド行でのフロッピーディスクのフォーマットと使用方法」を参考にして、コマンド行からフロッピーディスクをフォーマットしてください。

64 ビット Solaris に関するバグ情報

krtld が sparc9 レジスタシンボルを認識しない (バグ ID: 4203394)

Solaris にバンドルされていないデバイスドライバ、STREAMS モジュール、ファイルシステム、その他のカーネルモジュールをロードするときに、次のようなエラーメッセージが出力されることがあります。

```
kernel_module_path: undefined symbol
WARNING: mod_load: cannot load module 'kernel_module_path'
```

カーネル実行時リンカーは、SC 5.0 コンパイラおよびアセンブラに新しく導入された、64 ビット SPARC バイナリ用のレジスタシンボルを認識しません。

回避方法: 次のコマンドを実行して、エラーメッセージが出力されている原因が、カーネル実行時リンカーによって新しいレジスタシンボルが認識されていないことにあるかどうかを確認してください。

```
# nm kernel_module_path | grep REGI
```

上記のコマンドを実行した結果、次のように値が2および3で、レジスタの種類として REGI と示されている行が出力されている場合は、問題を修正する必要があります。

[154]		2	0	REGI		GLOB		0		UNDEF	
[155]		3	0	REGI		GLOB		0		UNDEF	

次の方法で問題を修正してください。

- カーネルモジュールのソースコードがある場合は、`-xregs=no%appl` オプション付きでカーネルモジュールを再コンパイルしてください。ソースコードがアセンブリ言語で記述されている場合は `-xregsym=no` オプション付きでアセンブルしてください。
- カーネルモジュールのソースコードがない場合は、カーネルモジュールのご購入先にお問い合わせください。

デバッグに関するバグ情報

マルチスレッドプログラムのデバッグ時に **dbx 4.0** はスタックトレースをダンプできない (バグ ID: 4207409)

マルチスレッドプログラムをデバッグする際に、dbx 4.0 はシグナルハンドラがあるスレッドスタックを正しくダンプできません。

回避方法 : dbx 5.0 を使用してください。

Solaris 7 - 3/99 実行時の注意事項とバグ情報 (日本語環境固有)

この節では、Solaris 7 - 3/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』の `runtime_bugs` ファイルを作成後に明らかになった、日本語環境における実行時の注意事項とバグ情報について説明します。

Netscape Communicator 4.5 (日本語版) に関するバグ情報

ルートディレクトリ (/) に (null) ディレクトリが作成される (バグ ID: 4190071)

日本語版 Netscape Communicator 4.5 をスーパーユーザーで起動すると、ルートディレクトリ (/) に不要なディレクトリ“(null)”が作成されます。

回避方法：“/(null)”ディレクトリを削除してください。一度削除すれば、それ以降に再び作成されることはありません。

製品の中止情報

この章では、製品の中止情報について説明します。この章に記載されている情報は、Solaris 7 - 3/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 3/99 オンラインリリース情報』の eof ファイルの内容を補足するものです。オンラインリリース情報については、17ページの「オンラインリリース情報」の説明を参照してください。

サポート中止予定のソフトウェア

sysidnis(1M) システム認識プログラム

将来の Solaris リリースでは、sysidnis(1M) が含まれなくなる予定です。sysidnis(1m) は、インストールおよびアップグレード中や、sys-unconfig(1M) によって構成を解除した後に、ネームサービスを構成するためのシステム認識プログラムです。

sysidnis(1M) の機能は、sysidns(1M) に含まれることになる予定です。

Maintenance Update 1 パッチリスト (SPARC 版)

この付録では、Solaris 7 Maintenance Update 1 パッチとそのパッチによって修正されるバグの ID を記載しています。Solaris 7 - 3/99 には、Solaris 7 Maintenance Update 1 パッチが統合されており、テスト済みのパッチが適用された Solaris オペレーティング環境が提供されます。これらのパッチは、Solaris 7 - 3/99 からバックアウト (削除) することはできません。

パッチリスト

パッチ ID: 106146-01
説明: PGX 7 M64 Graphics Patch
このパッチで修正されるバグ: 4147781 4166676

パッチ ID: 106147-01
説明: SunOS 5.7 VIS/XIL Graphics Patch
このパッチで修正されるバグ: 4163883 4172620

パッチ ID: 106541-02
説明: SunOS 5.7 kernel update patch
このパッチで修正されるバグ: 4104625 4115711 4115715 4138467 4139770 4140352 4147402
4152055 4159337 4165983 4168739 4170410 4170500 4174167 4174331 4175558 4177334 4177496
4179407 4179883 4181570 4182043 4182047 4182227 4182234 4182240 4182970 4184015 4184430
4184852 4184877 4185366 4190083 4190138 4190405 4190796 4190807 4190812 4193467

パッチ ID: 106733-05
説明: SunOS 5.7 Create a patch analyzer
このパッチで修正されるバグ: 4170691 4175875 4178977 4132282 4186583 4186586 4186587 4186588

(続く)

続き

パッチ ID: 106793-01
説明: SunOS 5.7 ufsdump and ufsrestore patch
このパッチで修正されるバグ: 4077276 4132365 4145883 4169853 4184189

パッチ ID: 106812-04
説明: SunOS 5.7 ctl print utility patch
このパッチで修正されるバグ: 4172142 4173334

パッチ ID: 106832-02
説明: SunOS 5.7 auditreduce/c2audit/praudit patch
このパッチで修正されるバグ: 4166626 4167174 4168892 4172111 4172702 4174308 4182072 4187811

パッチ ID: 106843-01
説明: OpenWindows 3.6.1 (japanese) fixed OW ws menu bug for sparc
このパッチで修正されるバグ: 4177882

パッチ ID: 106851-04
説明: SunOS 5.7 Manual Pages for Solaris 7 update
このパッチで修正されるバグ: 4173822 4186746 1070678 4136939 4153439 4162004 4171658 4170933
4169829 4146611 4147612 4165502 4166848 4178133 4179296 4181039 4181145

パッチ ID: 106879-01
説明: Power_Mgmt-SW 7 sys-suspend patch
このパッチで修正されるバグ: 4174133

パッチ ID: 106915-01
説明: SunOS 5.7 dtmail in zh.GBK can't read 2.5.1 Chinese email by default.
このパッチで修正されるバグ: 4182320

パッチ ID: 106917-01
説明: SunOS 5.7 when view mails change charset, dtmail dump core.
このパッチで修正されるバグ: 4175029

パッチ ID: 106924-01
説明: SunOS 5.7 /kernel/drv/isp and /kernel/drv/sparcv9/isp patch
このパッチで修正されるバグ: 4166035

パッチ ID: 106925-01
説明: SunOS 5.7 /kernel/drv/glm and /kernel/drv/sparcv9/glm patch
このパッチで修正されるバグ: 4162302 4176924

パッチ ID: 106926-02
説明: sdtudctool, sdtudc_register and sdtudc_extract patch for sparc
このパッチで修正されるバグ: 4178971 4183926 4178952 4178964 4162315 4176705 4179808 4192450

パッチ ID: 106934-01
説明: CDE 1.3 libDtSvc Patch
このパッチで修正されるバグ: 4181281 4167347

パッチ ID: 106936-01
説明: SunOS 5.7 /etc/cron.d/logchecker patch

(続く)

続き

このパッチで修正されるバグ: 4094591

パッチ ID: 106938-01
説明: SunOS 5.7 libresolv patch
このパッチで修正されるバグ: 4134616

パッチ ID: 106940-01
説明: SunOS 5.7 /usr/sbin/makedbm patch
このパッチで修正されるバグ: 4144726

パッチ ID: 106942-01
説明: SunOS 5.7 libnsl patch
このパッチで修正されるバグ: 4157559 4161969

パッチ ID: 106944-01
説明: SunOS 5.7 /kernel/fs/fifofs and /kernel/fs/sparcv9/fifofs patch
このパッチで修正されるバグ: 4166116

パッチ ID: 106946-01
説明: SunOS 5.7 /usr/sbin/sar patch
このパッチで修正されるバグ: 4175435

パッチ ID: 106948-01
説明: SunOS 5.7 /kernel/drv/qe and /kernel/drv/sparcv9/qe patch
このパッチで修正されるバグ: 4154455

パッチ ID: 106949-01
説明: SunOS 5.7 BCP (binary compatibility) patch
このパッチで修正されるバグ: 4169198

パッチ ID: 106950-01
説明: SunOS 5.7 linker patch
このパッチで修正されるバグ: 4176579

パッチ ID: 106952-01
説明: SunOS 5.7 /usr/bin/uux patch
このパッチで修正されるバグ: 4179980

パッチ ID: 106960-01
説明: SunOS 5.7 Manual Pages for patchadd.1m and patchrm.1m
このパッチで修正されるバグ: 4178212

パッチ ID: 106963-01
説明: SunOS 5.7 /kernel/drv/esp and /kernel/drv/sparcv9/esp patch
このパッチで修正されるバグ: 4176942

パッチ ID: 106967-01
説明: SunOS Release 5.7 htt server unexpectedly restart
このパッチで修正されるバグ: 4172429

パッチ ID: 106969-01
説明: SunOS 5.7 zh.GBK, Input Method, Alt+1 sometimes can not work properly

(続く)

続き

このパッチで修正されるバグ: 4183054

パッチ ID: 106971-01

説明: xetops of zh.GBK locale doesn't process TAB character

このパッチで修正されるバグ: 4187748

パッチ ID: 106973-01

説明: SunOS 5.7 Correct translation error.

このパッチで修正されるバグ: 4176030

パッチ ID: 106978-01

説明: SunOS 5.7 fix for /var/log/sysidconfig.log permission

このパッチで修正されるバグ: 4166260

パッチ ID: 106980-03

説明: SunOS 5.7 libthread patch

このパッチで修正されるバグ: 4157739 4173285 4173422

パッチ ID: 106982-01

説明: SunOS 5.7 /kernel/drv/fas and /kernel/drv/sparcv9/fas patch

このパッチで修正されるバグ: 4172361

パッチ ID: 106985-01

説明: SunOS 5.7 /usr/sbin/uadmin and /sbin/uadmin patch

このパッチで修正されるバグ: 4167438

パッチ ID: 106987-01

説明: SunOS 5.7 /usr/sbin/tar and /usr/sbin/static/tar patch

このパッチで修正されるバグ: 4159872

パッチ ID: 106999-01

説明: SunOS 5.7 /usr/lib/adb/sparcv9/adbsub.o patch

このパッチで修正されるバグ: 4164583

パッチ ID: 107001-01

説明: CDE 1.3 Actions patch

このパッチで修正されるバグ: 4157154

パッチ ID: 107011-01

説明: CDE 1.3 sdtwebclient patch

このパッチで修正されるバグ: 4110777 4164680 4185288

パッチ ID: 107014-01

説明: XIL 1.4 Deskset Loadable Pipeline Libraries: ppx24 and snapshot fix

このパッチで修正されるバグ: 4177176 4174709

パッチ ID: 107018-01

説明: SunOS 5.7 /usr/sbin/in.named patch

このパッチで修正されるバグ: 4134616

パッチ ID: 107022-01

説明: CDE 1.3 sdtcm_convert patch

(続く)

続き

このパッチで修正されるバグ: 4184188

パッチ ID: 107029-01

説明: SunOS 5.7 /usr/platform/sun4u/sbin/prtdiag patch

このパッチで修正されるバグ: 4184305

パッチ ID: 107030-01

説明: SunOS 5.7 sysctrl.so.1 patch

このパッチで修正されるバグ: 4184305

パッチ ID: 107031-01

説明: SunOS 5.7 /usr/ucb/ucblink patch

このパッチで修正されるバグ: 4161576

パッチ ID: 107038-01

説明: SunOS 5.7 apropos/catman/man/whatis patch

このパッチで修正されるバグ: 4107178 4154565

パッチ ID: 107042-01

説明: SunOS 5.7 Messages of Patch Analysis update for install

このパッチで修正されるバグ: -

パッチ ID: 107044-01

説明: SunOS 5.7 Russian and Polish print failure on some printers

このパッチで修正されるバグ: 4190105

パッチ ID: 107059-01

説明: SunOS 5.7 /usr/bin/sort and /usr/xpg4/bin/sort patch

このパッチで修正されるバグ: 4181185

パッチ ID: 107063-01

説明: Solaris 7 Thai engine crashes in 64bit mode

このパッチで修正されるバグ: 4186151

パッチ ID: 107072-01

説明: CDE 1.3 Spell Checker patch

このパッチで修正されるバグ: 4185079

パッチ ID: 107074-01

説明: SunOS 5.7 SUNWultratest doesn't support sun4us platform

このパッチで修正されるバグ: 4190729

パッチ ID: 107076-01

説明: SunOS 5.7 /usr/kernel/drv/vol and /usr/kernel/drv/sparcv9/vol patch

このパッチで修正されるバグ: 4181968

パッチ ID: 107081-01

説明: Motif 1.2.7 Runtime library patch

このパッチで修正されるバグ: 4159034 4149711 4171291 4170491 4162369 4165677 4171723 4174322
4183749 4186734 4186826

パッチ ID: 107094-01

(続く)

続き

説明: CDE 1.3 dtterm libDtTerm.so.2 Patch
このパッチで修正されるバグ: 4177487

パッチ ID: 107117-01
説明: SunOS 5.7 libbsm patch
このパッチで修正されるバグ: 4188193

パッチ ID: 107119-01
説明: SunOS 5.7 JFP manpages patch
このパッチで修正されるバグ: 4185342 4190255 4195644

パッチ ID: 107121-01
説明: SunOS 5.7 uata and dad driver patch
このパッチで修正されるバグ: 4179264 4186223

パッチ ID: 107124-01
説明: SunOS 5.7 JFP message files patch
このパッチで修正されるバグ: 4195663

パッチ ID: 107127-02
説明: SunOS 5.7 /usr/lib/autofs/automountd patch
このパッチで修正されるバグ: 4188020

パッチ ID: 107147-01
説明: SunOS 5.7 pci driver patch
このパッチで修正されるバグ: 4177530 4180438

パッチ ID: 107148-01
説明: SunOS 5.7 /kernel/fs/cachefs and /kernel/fs/sparcv9/cachefs patch
このパッチで修正されるバグ: 4170190

パッチ ID: 107171-01
説明: SunOS 5.7 Fixes for patchadd and patchrm
このパッチで修正されるバグ: 4186941 4176890 4190866 4150762 4193454 4194281 4194308

パッチ ID: 107178-01
説明: CDE 1.3 libDtHelp.so.1 patch
このパッチで修正されるバグ: 4193245

パッチ ID: 107185-01
説明: SunOS 5.7 Miscellaneous Russian KOI8-R problems
このパッチで修正されるバグ: 4195697 4189003 4194495

パッチ ID: 107187-01
説明: SunOS 5.7 Miscellaneous Eastern European locale problems
このパッチで修正されるバグ: 4174452 4179411 4138017

パッチ ID: 107209-01
説明: Solaris 7 Add/Change some messages from 399
このパッチで修正されるバグ: -

